

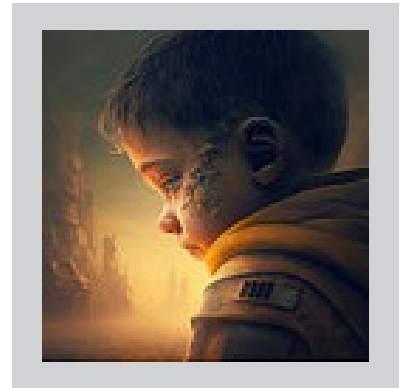
「命の重さ」

毎日流れるテレビのニュースで目にする凄まじく悲惨な戦場の様子、そして争いに巻き込まれた一般の人たちの悲痛な叫び、今までの日常が奪われてしまい途方に暮れている様子。

「平和」「幸せ」のキーワードなど考えることすら出来ない、まさに「死ぬか生きるか」を迫られています。海外で起きている事だけれど、今現在、戦禍の中にある人々の内面の声に耳を傾ける必要があると思います。

ある小学校 5 年生の男子の子の書いた感想文を紹介致します。

「私は、水木しげるさんが書いた戦争体験記を読んで、戦争の恐ろしさ悲惨さを想像し、毎日がどれだけ平和なのか改めて感じ考えました」
「人の命の重さは、誰もが「同じ」だと言う事を忘れてしまった時、平和は壊れてしまうと思う」



「人の命」は、誰も勝手に奪うことはできません。この世にたった 1 つしかない自分の命を自分らしく生きる、そして尊重される権利があります。

てのひらのご利用者様の中でも、言葉にはしないけれど「自分の人生がいつ終わるかも知れない」と思いながら日常を送っている方もいらっしゃると思います。

私たちは一人ひとりのご利用者様の心の痛みに寄り添い、その痛みを想像する力を持ち続けたいと思います。

戦場に出向いて命を救う事はできないけれども、身近にある命に寄り添う事はできる。奪い合えば戦争になる、分け合えば共生になり、そして与え続ける事で愛が育まれる。



一人ひとりの「いのちを愛(め)づる」という気持ちを慎み深く胸に刻み生きて行くことで、報われる命があると願いたい。

 忙しいスケジュールの中、みんなの笑い声が多くの人に愛と勇気を届けています。

新しいスタッフも増えて頼もしく思います。 今月もお疲れ様でした。

2023 年 11 月 10 日

呉静恵

